

新たな学校づくりを踏まえた これからの学校を考える授業の実施について

第1期の5地区（本町田、南成瀬、鶴川東、鶴川西、南第一小学校地区）において、小学3年生を対象に、「町田市が新たな学校づくりを進める背景や目的を知り、これからの学校を考える授業」を実施しています。

南第二小学校では、2024年11月22日（金）1時間目と4時間目に各クラスで授業を実施しました。

1 授業内容、児童の感想

町田市の人口や子どもの数の推移、昔と今の学校生活の違いや、学校の建物が老朽化してきていることなどについて学びました。

そのうえで、町田市が目指すより良い教育環境に向けて、学校統合や学校の建替えを行っているという話を聞き、これからの町田の学校は「どんな学校になったらいいか」を考えてもらうグループワークを行いました。その後、グループごとの話し合いの結果を発表しました。「校庭にいろいろな遊具がほしい」や「室内プールがほしい」、「1人1人にあう学習ができる学校」「おちつけるスペースがほしい」など、様々な意見が出ました。



授業の様子

【授業の感想】

- 町田市の人たちがいろいろやってくれていたんだなと思ったし、南二小のこともいろいろかんがえてうれしいなと思いました。
- 昔、小学生がたくさんいたけど今は、あまりいないことをしれた。
- みんながっこうでたのしいことをしたいんだなと思った。
- 新しい学校を作るのは、とても大へんなのをはじめて知りました。
- ぼくらが中学生になった学校が新しくできてもし図書室がちいきの方も行けたら行こうと思った。
- 新しい学校がすてきになればいいな
- 未来の学校が楽しみです。

2 今後の進め方

南成瀬小学校では、2025年3月6日（木）の5時間目と6時間目に実施を予定しています。

今年度の様子や児童の感想を踏まえ、次年度以降、社会科の「これからの町田市」を考える授業の中で、「まちだ未来づくりビジョン 2040」と合わせて、「こんな町田になってほしい」に加え、「こんな学校になってほしい」という子どもたちの思いや考えを伝え合う時間を設けていけるように検討しています。

引き続き、児童も含めて幅広く意見を集めながら、計画を推進していきます。